

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年10月1日～2024年9月30日)



テラマエ設備工業株式会社



発行日：2024年11月30日

改定日：2025年 7月16日

目 次

1. 会社の概要	・・・	P 2
2. 主な環境負荷の実績	・・・	P 2
3. 対象範囲（認証・登録範囲（予定））	・・・	P 3
4. 推進組織図及び役割・責任・権限	・・・	P 3
5. 環境経営方針	・・・	P 4
6. 環境経営目標	・・・	P 5
7. 環境経営計画	・・・	P 6
8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と その評価、並びに次年度の環境経営計画	・・・	P 7
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	・・・	P 8
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・	P 9

1. 会社の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

テラマエ設備工業株式会社
代表取締役 田中 清徳

(2) 所在地

本 社	兵庫県姫路市三左衛門堀東の町14番地
神河営業所	兵庫県神崎郡神河町上岩176番地
神戸営業所	兵庫県神戸市灘区都通2丁目1-12
香寺事務所	兵庫県姫路市香寺町田野825番地1
田野倉庫	兵庫県姫路市香寺町田野987番地1他

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	代表取締役 田中 清徳
環境管理担当者	総務部部长 松尾 泰士郎
連絡先	TEL: 079-225-7171 FAX: 079-225-7172

(4) 事業の概要（建設業の許可業種）

管工事、電気工事、土木工事、建築工事、とび・土工工事、舗装工事、浚渫工事、水道施設工事、
消防施設工事、機械器具設置工事

(5) 事業規模

年間売上高 2,922百万円（2023年10月～2024年9月）

	本社	神河営業所	神戸営業所	香寺事務所	田野倉庫	合計
総従業員 2024.9.30現在	30人	0人	1人	2人	0人	33人
延べ床面積	397.15㎡	238.68㎡	175.21㎡	415.64㎡	93.71㎡	1320.39㎡
敷地面積	1222.00㎡	961.77㎡	140.19㎡	1106.81㎡	1148.01㎡	4578.78㎡

2021.1 本社が香寺町田野（現：香寺事務所）より姫路市三左衛門堀東の町（現：本社）に移転

(6) 会計年度 10月1日～翌年9月30日

2. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2023年度	2022年度	2021年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	86,094	89,015	87,853
電力使用量（本社）	kWh	24,327	24,934	23,490
電力使用量（神戸営業所）	kWh	8,051	8,617	8,015
電力使用量（香寺事務所）	kWh	13,974	13,345	13,098
ガソリン使用量	ℓ	30,756.36	31,940.62	31,754.06
産業廃棄物排出量	トン	18.07	23.92	17.16
水使用量（本社）	m ³	265	156	157
水使用量（神戸営業所）	m ³	14	21	22
水使用量（香寺事務所）	m ³	74	73	80

使用した電力の二酸化炭素排出係数；0.318 kg-CO₂/kWh（関西電力、2019年度の調整後排出係数）

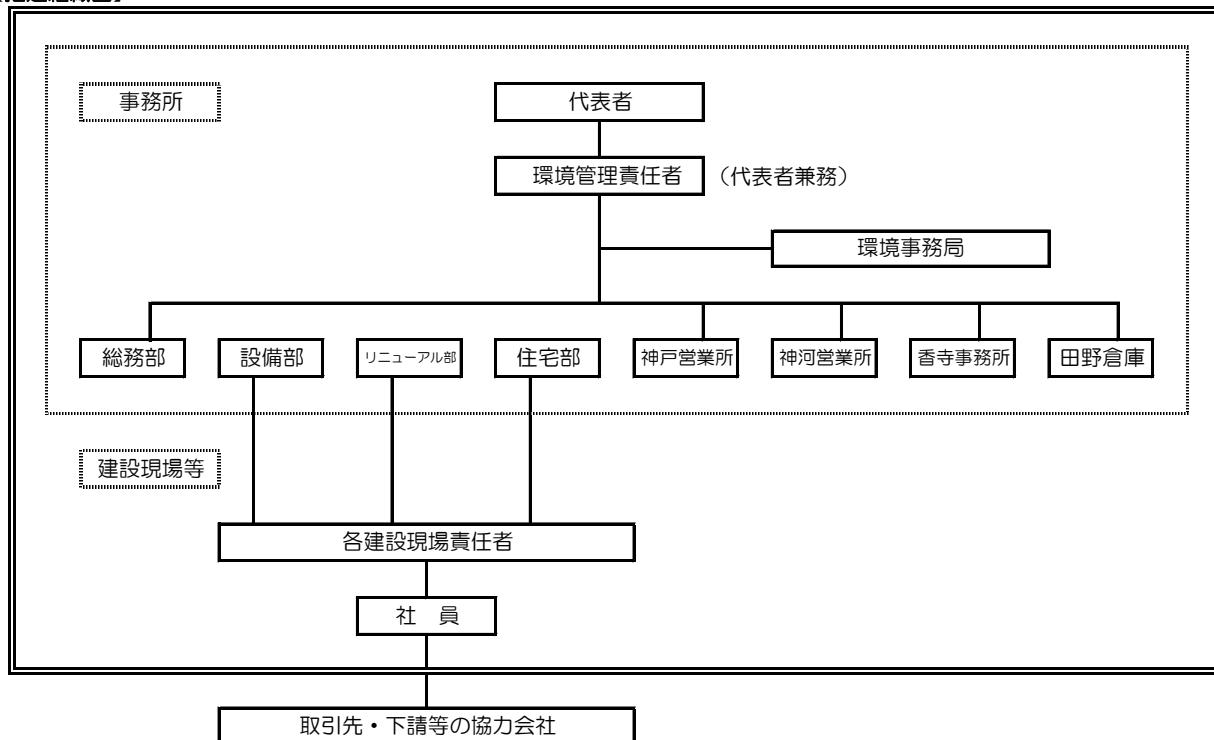
3. 対象範囲（認証・登録範囲）

事業活動：空調設備工事及び給排水衛生設備工事

対象事業所：本社、神河営業所、神戸営業所、香寺事務所、田野倉庫

4. 推進組織図及び役割・責任・権限

【推進組織図】



【役割・責任・権限】

	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境経営方針を策定し、従業員に周知させる ③環境経営目標、環境経営レポートを承認する ④資源（人・もの・金）の用意をする ⑤エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直し・指示を実施する
環境管理責任者 (代表者兼務)	①エコアクション21建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②EA21文書類の承認をする ③環境委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する
環境事務局	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し（環境経営レポートを含む）実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
部門長及び 全従業員	①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う ②環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する環境関連法規制等を順守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する

5. 環境経営方針

テラマエ設備工業株式会社 環境経営方針

1. 環境理念

当社は「お客様に最適なサービスを提供できるよう、社員一同、日々努力し、地域の中の安心できる会社」と言う社是の理念に基づき、誠実で堅実な経営と、不断の改善を通じて、顧客と社会から信頼され、満足していただける品質を提供すると共に、環境に配慮できる企業として、全社一丸となって環境経営システムを構築・運用し、自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

2. 行動指針

当社は空調設備工事及び給排水衛生設備工事の事業活動を通じて、次の項目に取り組みます。

- (1) 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
- (2) エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、汚染の予防と継続的改善に努めます。
- (3) 事業活動全般における環境負荷を削減するために次の活動に取り組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量削減（電力使用量の削減・自動車燃費の向上）
 - ② 廃棄物排出量削減（廃棄物の分別の徹底と削減）
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ 環境配慮型製品の技術提案
- (4) この環境方針は当社全従業員に周知するとともに、環境経営レポートを公開します。

取組の重点分野

制定日：2011年 9月 1日
改定日：2022年6月28日

テラマエ設備工業株式会社
代表取締役 田中 清徳

6. 環境経営目標（中長期目標）

No.	環境経営目標		基準年度 2022年度実績	2024年度目標		2025年度目標		2026年度目標	
①	電力使用量の削減（合計）	kWh	46,896	-2%	45,958	-3%	45,489	-4%	45,020
	本社	kWh	24,934		24,435		24,186		23,937
	神戸営業所	kWh	8,617		8,445		8,358		8,272
	香寺事務所	kWh	13,345		13,078		12,945		12,811
	CO2排出量 ※1 係数 0.318	kg-CO2	14,913		14,615		14,466		14,316
	自動車燃費の向上	k m/ℓ	16.92	-2%	17.26	-3%	17.43	-4%	17.60
	総走行距離	k m	540,550		—		—		—
	ガソリン使用量	ℓ	31940.62		31,302		30,982		30,663
②	産業廃棄物排出量の削減	トン	23.92	-2%	23.44	-3%	23.20	-4%	22.96
③	水使用量の削減	m ³	250	-2%	244	-3%	241	-4%	239
	本社	m ³	156		153		151		149
	神戸営業所	m ³	21		20		20		20
	香寺事務所	m ³	73		71		70		70
④	環境配慮型製品の技術提案	件/年	43		40		40		40

※1 電力の二酸化炭素排出係数：0.318 kg-CO₂/kWh（関西電力、2019年度の調整後排出係数）

※2 化学物質使用の実績はありません。

※3 廃棄物は、建設混合廃棄物のみとする（本社管理分）

※4 削減させる方が良い目標の場合、達成率＝{目標値+（目標値－実績値）}÷目標値×100%

※5 増加させる方が良い目標の場合、達成率＝実績値÷目標値×100%

※6 環境配慮型製品とは、節水型トイレ・省エネエアコン・LED照明・高効率給湯器

※7 神戸営業所・田野倉庫は環境負荷が小さいため環境経営目標の対象としていません。

7. 環境経営計画

No	環境経営目標	環境経営目標の達成手段	スケジュール					実施体制 (責任者)
			全期	春期	夏期	秋期	冬期	
①	二酸化炭素排出量削減 ・電力使用量の削減 (本社) (香寺事務所) (神戸営業所)	1. 冷・暖房時の適切な温度管理			○		○	総務部 担当者
		2. 空調機フィルターの清掃 1回/月	○					
		3. ブラインドの適時利用	○					
		4. 部分消灯	○					
		5. 不使用時消灯(パソコン含む)	○					
		6. 節電シールの貼付け	○					
	・自動車燃費の向上	1. 運転日報を記録する	○					総務部 担当者
		2. 急発進・急停車の禁止	○					
		3. 経済速度で運行すること	○					
		4. 運行経路の効率化を図ること	○					
		5. オイルチェックなどの車両点検を励行すること	○					
		6. タイヤの空気圧を適正に保つこと	○					
		7. 過積載を防止すること	○					
②	産業廃棄物排出量の削減	1. 対象廃棄物を分別表示し分別する	○					総務部 担当者
③	水使用量の削減	1. 節水シールを貼る	○					総務部 担当者
		2. 出しっぱなしにしない	○					
		3. 洗浄の際、洗剤を適正使用する	○					
④	環境配慮型製品の技術提案	1. 環境配慮型製品の成約件数(P5.※6参照)	○					工事部 担当者
		2. 太陽光発電の成約件数	○					

8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画

No	環境経営目標 (環境経営方針との関連)	環境経営計画に基づき 実施した取組内容	評価 ※1	環境経営計画の実績 (2023年10月～2024年9月)			次年度の 環境経営計画	
①	電力 使用量の削減	・冷・暖房時の適切な温度管理	○	単位	kWh		年間目標が達成されました。猛暑の夏場の電気使用量が昨年度実績より下回ったのが要因の一つと考えられます。	現在の取組を継続する。
		・空調機フィルターの清掃	○	目標	46,425			
		・ブラインドの適時利用	○	実績	46,352			
		・部分消灯	○	達成率	100 %			
		・不使用時消灯	○	達成状況	○			
		・節電シールの貼付け	○	※2				
	自動車燃費の向上	・運転日報を記録	○	単位	k m/ ℓ		エコドライブに取り組んでいますが、目標達成ありませんでした。経年車の車両入替も改めて検討していきたい。	現在の取組を継続する。
		・急発進・急停車の禁止	○	目標	17.09			
		・経済速度で運行	○	実績	16.81			
		・運行経路の効率化	○	達成率	98 %			
		・オイルチェック等の車両点検	○	達成状況	×			
		・タイヤの空気圧	○					
		・過積載を防止	○					
②	産業廃棄物 排出量の削減	・対象廃棄物を分別表示し分別	○	単位	トン		分別の徹底は浸透している。	現在の取組を継続する。
				目標	23.68			
				実績	18.07			
				達成率	131 %			
				達成状況	○			
③	水使用量の削減	・節水シールを貼る	○	単位	m3		本社9月分水道使用量が異常な使用量になり、目標が達成されませんでした。原因を調査しましたが漏水もしていません。原因不明のままです。	現在の取組を継続する。
		・出しっぱなしにしない	○	目標	246			
		・洗浄の際、洗剤を適正使用	○	実績	353			
				達成率	70 %			
				達成状況	×			
④	環境配慮型 製品の技術提案	・環境配慮型製品の成約件数	○	単位	件		営業担当者の人数は少なくなりましたが、今までの顧客を大事にした結果目標が達成できました。今後も引き続き幅広く営業活動をお願いしたい。	次年度以降も年間40件の目標設定を継続していきたい。
		・太陽光発電の成約件数	○	目標	40			
				実績	41			
				達成率	103 %			
				達成状況	○			
実施体制		・実施体制（環境管理責任者、環境委員会並びに各目標ごとに設定された実施責任者）は有効に機能しており、これを継続する						

※1 ○良くてきた △まあまあできた ×できなかった

※2 達成状況：○目標達成 ×目標未達成

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用される環境関連法規等の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

適用される法令等		主な遵守すべき内容 ※	遵守状況
1	廃棄物処理法	一般廃棄物処理業者の許可の確認	遵守
		産業廃棄物処理業者との委託契約の締結	遵守
		マニフェストの発行と回収及び交付状況の報告	遵守
2	自動車リサイクル法	リサイクル費用の資金管理法へへの預託	廃棄実績なし
		使用済み自動車の引取り業者への引渡し	廃棄実績なし
3	建設リサイクル法	特定建設資材の再資源化	遵守
		特定建設資材と再生資源の利用量の把握等による計画の作成と実施記録の保存	遵守
4	家電リサイクル法	リサイクル及びリユースを確実に行う業者への処理委託	廃棄実績なし
5	資源有効利用促進法	リサイクル及びリユースを確実に行う業者への処理委託	遵守
6	騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
7	振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
8	フロン排出抑制法	冷凍空調機器の簡易点検・定期点検の実施と記録	遵守
		廃棄時の適切な処理	遵守
9	自動車NOx・PM法	自動車の運転の際に、排出抑制に努める	遵守
10	消防法	消防用設備等点検の実施、届出	遵守
11	下水道法	公共下水道への排水	遵守
12	兵庫県環境の保全と創造に関する条例	特定建設作業実施の届出	遵守
		自動車公害防止	遵守
13	姫路市公害防止条例	特定建設作業実施の届出	遵守
		自動車公害防止	遵守

※ 紙面の都合のため、主要な遵守すべき内容を抜粋し、簡略的に記載しており、詳細は「環境法規制等一覧表兼順守評価記録」で管理している

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。環境関連法規の遵守状況については、2024年9月20日に確認し、その結果問題はありませんでした。

環境関連訴訟等は過去5年間、1件も発生しておりません。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し年月日：2024年 10月 10日

作成日：2024年 10月 10日

代表者：田中 清徳

作成者：田中 清徳

見直しに必要な事項		環境管理責任者の報告	代表者による評価	変更の 必要性
環境経営 方針	環境経営方針に示された環境への取組の基本的方向は現在も適切か	環境経営方針は適切である	環境経営方針は変更しない	☐ 有り ☒ 無し
環境経営目 標及び環境 経営計画	環境経営目標・計画の達成状況は妥当か ・課題とチャンス ・二酸化炭素排出量削減 ・廃棄物排出量削減 ・水使用量削減	環境経営目標・計画は適切である。 変更無し 目標未達成 目標未達成 目標達成	未達成項目もありますが、次年度は達成できるよう引き続き活動していく。水道使用量については原因不明のため注視が必要	☐ 有り ☒ 無し
その他の環 境経営シス テム	・環境負荷の大きな変化 ・法規制等の遵守状況 ・教育・訓練の実施 ・外部からの苦情や要望 ・実施及び運用の適切性 ・緊急事態への準備状況 ・取組の確認並びに是正処置の状況 ・環境経営レポートの作成と公表、活用状況	なし 違反は無し 実施 ありません 適正 テスト実施 現在は無し 作成は行っておりHPで公表する予定です。	特に問題もなく、環境経営システムは有効だと判断できる	☐ 有り ☒ 無し
実施体制	実施体制は効果的であり、変更の必要性はないか	実施体制は効果的である	実施体制は継続する	☐ 有り ☒ 無し
前回の代表 者指示事項 のフォロー アップ	電力使用量の削減、産業廃棄物排出量の削減目標については改善されましたが、自動車燃費の向上、水使用量の削減については目標達成ができませんでした。未達項目については取組み改善の上継続して目標達成に努めてもらいたい			
代表者の 指示事項	今まで通り浸透・継続を心がけるとともに活動の細目まで目を配り、未達項目や改善事項があれば随時対応してもらいたい。水道の使用量については原因不明ながら大幅な使用料増となっているため、今後も継続して節水を心がけるとともに、漏水が疑われる場合は漏水調査を実施し早期の改善に努めてください			
代表者の 総合評価 ※	従業員の入れ替わりもありますが、新しいスタッフへの浸透もスムーズに行えていると思います。ただ目標達成にむけて取り組んではいるものの、様々な要因により目標達成が困難な項目も見受けられます。抜本的な見直しも含めやさらなる改善を行い目標達成につなげて行ってもらいたいと思います			

※次年度以降への展開を重点に記載する